

令和3年度スマート水産業推進事業のうち数量管理システム強化事業のうち
国際資源の漁獲情報包括管理事業のうち
特定漁獲データ集積・分析事業実績報告書

住所 東京都中央区豊海町4-5 豊海振興ビル6階
国際資源特定漁獲データ集積・分析
共同実施機関 代表機関
一般社団法人漁業情報サービスセンター
代表者 会長 和田時夫

1 事業の実施状況

ア 調査項目及び調査対象

令和3年度国際資源の管理体制構築促進事業のうち特定漁獲データ集積・分析事業仕様書に基づき事業を実施した。

イ 事業実施期間

令和3年4月1日～令和4年3月31日

ウ 事業の成果（又はその概略）

A 漁獲報告等関連業務

(a)(一社)漁業情報サービスセンターは、代表機関として事業全体の調整・監督・指導を行った。

(b) 独自に開発したマグロ類・カジキ類漁獲等データ入力・集計システムを用いて地域漁業管理機関の海域毎に提出された漁船の漁獲報告（日報）を入力し、定型集計または必要に応じて非定型集計を行った。また、システムの運用・管理を行った。

(c) 許可省令に基づく漁獲報告等の信頼性確保のため、マグロ類・カジキ類漁獲等データ入力・集計システムにより蓄積された日別報告等と、カツオ・マグロ漁業の操業秩序及び安全性の確保の観点より、独自に開発したカツオ・マグロVMSシステム（Vessel monitoring system）のVMSデータとの整合性の調査及び確認を行った。

(d) 水産庁担当部局及び漁業団体の担当者と調整しながらスムーズにシステム運用されるよう、監督・指導を行った。

B ICCATビンナガ等報告システム保守等関連業務費

地域漁業管理機関で配分された我が国の漁獲枠をリアルタイムに把握するために、大西洋のビンナガ等の日別報告を入力するシステムの保守を実施した。

C カツオ・マグロ類漁獲情報システム等関連業務

(a) (株)マイトベーシックサービスが、マグロ類等漁獲情報システムのシステム改修

について、

- ①出力プログラム、集計用出力画面に消化率集計用出力機能を追加した。
- ②入力プログラム、大西洋新規登録画面、南太平洋新規登録画面の項目、鉤数、鉢数の桁数、本数の整数チェックを追加した。
- ③入力プログラム、南太平洋新規登録画面の項目、投縄開始日時、投縄終了日時、揚縄開始日時、揚縄終了日時の時系列チェックを追加した。
- ④データベースに活動形態「6：その他」を追加した。
- ⑤入力プログラム、南太平洋新規登録画面の項目、海域コンボボックス、海域区分コンボボックスを選択不可能に改修した。

(b)マクロ類等漁獲情報システムの正常な運用を維持するために、システム保守管理・運用支援について、

- ①入力端末機器のメンテナンスやトラブル対応を行った。
- ②データベースのバックアップの確認、ディスク容量の確認、アップデート後の接続動作確認を行った。